

「総ぐるみ」新聞

七夕祭り、夜のお食事を日限山荘で開催

日限山荘は、平成十六年六月にオープンして以来、丸一年を経過しました。

現在では、週二日（原則、火曜、金曜日）共においしい昼食（実費三〇〇円）をいただき、会話を楽しんだり、ゲームや囲碁を楽しんだりする場になっています。

去る七月八日（金）には、一日遅れでしたが、七夕祭りかねた夜のお食事を開催し、約二〇人の方がご参加くださいました。初めての夜のお食事会でしたので、お酒もすんで楽しい宴会になりました。ご近所の方々、少々うるさかったかもしれませんが、お許しください。

当日は、大橋さんをご持参くださった大きな竹に、出席者がそれぞれの思いを込めて書いた短冊を飾りました。次にその言葉の数々を紹介します。

健康 第一

NPO総ぐるみの会の皆様の幸せを祈ります

NPO総ぐるみ福祉の会 事務所は日限山444・23の宮崎宅です。入会や活動については、宮崎浩子（844747）、増澤喜一郎（8429084）、大橋綾子（8232363）、菅沼永子（8449193）、米川満寿子（8419433）、菊地幸子（8414862）に。
「日限山荘」でも受け付けています。

天国へ行ってみたい日帰り

みんな仲良く

い迄も今迄の様に元気で若々しく

平和だねー 世界を見渡す地球博

皆元気にがんばろう

卒寿過ぎ 国の平和よ有難う

日限山の人々の頭上に幸運が来ますように

家内安全楽しい一年でありますように

幸運祈願

皆元気 大笑い

皆さん仲良 未永く生き抜きましょう

家族の健康を祈ります

夢の中懐かしい友と語り合い 楽しい一夜そのままに

家中が元気で過ごす事が出来ます様に

ますます健康が加わりますように

楽しいよがっばい

毎日が健康で楽しい日々でありますように

老い居ても心も視野も広く成りたい

平和な世界を

ヘルパー2級の

研修を受けて

宮崎 浩子

もう六〇歳も過ぎたし、自分に来るかどうかかわからないと迷ってはかりいましたが、ヘルパー2級の資格を取る研修に申し込みました。金銭面でも少し負担が大きいので、勇気を出して九万円近いお金を振り込み、申し込んだわけです。

受講生を見回し、「やっぱり私が一番歳上かな?」と思いました。三ヶ月の間、毎週土曜日と日曜日朝九時から午後五時までの講義、実習でした。

講義を受けるとき、意見を闘わすとき、お弁当を食べるとき、実習をするときと回を重ねるうちに、クラス全体に一体感がわき、年齢を忘れ、学生時代に戻っていき、久しぶりの学校生活がとても楽しくなりました。

欠席すると、再び受講料を払って補習を受けなければ修了証がもらえないので、少々の不都合があっても休む人はいません。暑かった九月の残暑も日増しにやわらぎ、お正月も過ぎて無事三〇人全員が終了式を迎えることができました。

その感動と仲間ができたことがうれしくて、食事会をしました。二年経った現在でも、ゴールデンウイークの一日は、研修仲間の同窓会と決めています。

今年の同窓会では、ヘルパーとしてもうベテランの域に入った人、親の介護に専念している人、次の段階のヘルパー1級の研修を受けている人、介護事

業所の管理者になった人、介護専門学校の学生の人、介護事業所の事務員になった人、定年退職したら使おうと現職の仕事を続けている人、みんなに会えて、研修後の生き方をわくわくした気持ちで聞き、得意になって話しました。

受講生の感想を尋ねると、口をそろえて厳しかったけど、「張り合いがあったわ、久しぶりに若返った気持ち」と、おばさん、おじさんが言つと、現役高校生、大学生からは、「そんな気持ちわからない!」と言つ反応ではありましたが……。

私は、今は時間がある時だけヘルパーとして働いています。利用者さんが親のように思えて、ついつい情が深くなつてしまいます。たまに、こんな年寄りにはなるまいという人にも出くわすこともあり、自分にとつて「どのように老後を過ごしたら幸せか」という勉強になっています。

もう一〇年もヘルパーの仕事をやっている友達がいいます。彼女いわく、「ヘルパーに対する世の中の考え方がずいぶん変わったわ」です。

といいますのは、昔はお手伝いさんという感じがありました。今は、医療と連携した介護であり、単なる家事の援助者ではないのです。利用者の出来ることはなるべく身体や頭を動かすように働きかけて、その人の残っている能力(残存能力)をなるべく使い、その能力の維持を図るようにお手伝いすることだそうです。

それにしてもお手伝いさんだと錯覚されることが多く、「ヘルパーの真の仕事はなかなか分かってもらえないねえ」。「ヘルパー自身も分かっていないけれど」と話し合うのが日常になっています。

9月より編み物開催

細方眼編みのベストを編みましょう!

細方眼編みという聞きなれない編み方ですが、かぎ針を使って伸縮性に富んだ着心地のよい編地が編めます。また、配色を生かした編地がたやすく出来るので、色の取り合わせがよければ残り毛糸が利用できます。

お手持ちの残り毛糸がある方、また、編み方に興味のある方、ぜひ一緒に編んでみませんか?

ご参加を待っています。

日時 月2回(原則は 第一、第二火曜日)

午後1~4時

場所 日限山荘

日限山荘の今後の開館予定

七月二十九日(金)

(八月は休館します)

九月 二日(金)より

火曜、金曜の週二回開館